

どうなった

検証

あの一般質問の行方は

海岸の侵食状況その後の対策は

横瀬海岸の侵食は依然として進んでいる。砂防堤は高さ5mの浜崖ができ、今後さらに台風襲来・高波等による海岸侵食は益々進むことが予想される。早急な対策をはかれ。

平成17年3月定例会質問
坂元 正春 議員

町長答弁

国・県に対応を要請

大隅沿岸の海岸保全基本計画に入っており、横瀬海岸の侵食や浜崖についても検討していく。今後も総合的な海岸保全対策を強く要望していく。

町長答弁

どうなった

引き続き要望活動を行う予定

肝付町・東串良町・志布志市・大崎町で構成する志布志湾防災連絡協議会で毎年要望活動を行っている。横瀬海岸についても、引き続きこの協議会を通じて強く要望していく。

建設課所管

不妊治療に対する助成制度の創設について

不妊に悩む人たちの実態は、治療費が高額であり、保険が効かないため経済的不安が大きい。治療を受ける人たちへの助成制度をつくる考えはないか。

平成21年3月定例会質問
宮本 昭一 議員

町長答弁

実施に向け所要の措置を講じる

不妊に悩む夫婦の精神的・経済的負担の軽減を図るため、不妊治療費の助成制度の実施に向けて、今後所要の措置を講じる。

町長答弁

どうなった

21年度から不妊治療費助成制度を創設

6月補正予算で、不妊治療費助成金として60万円を計上。対象となる治療は、健康保険適用外の体外受精及び顕微授精で、本年4月1日以降の治療が対象となり、1回の治療に10万円以内、1年度あたり2回まで、通算5年間を限度に助成する。

保健福祉課所管

※ 過去の定例会での一般質問の中から一部をピックアップして、その後、どのように町政に反映されたかを検証します。